

# 第1回 帯広市中小企業振興協議会 議事録(要旨)

平成19年7月20日（金）16時～  
帯広市役所10階第5A会議室

項目	内容
1、設立記念講演	<p>テーマ：「経済成長戦略大綱と地域経済活性化戦略 ～ 十勝・帯広によせる期待 ～」</p> <p>講師：経済産業省 北海道経済産業局 浦 忠幸 産業部長</p> <p>講演資料：別紙</p>
2、協議会委員紹介	資料1により委員を、紹介。
3、条例の説明	資料2の「帯広市中小企業振興基本条例」を、説明。
4、要綱の説明	資料3の「帯広市中小企業振興協議会設置要項」を、説明。
5、正副会長互選	互選の結果、会長に渡辺 純夫氏 副会長に岩橋 浩氏 竹川 博之氏を選任した。
6、策定体制について	資料4の説明があり、策定体制について、10名程度からなる4部会（ものづくり・創業部会、経営基盤・人材部会、産業基盤部会、交流部会）を設けること、また部会に委員が参加すること、委員以外に部会委員を次回までに選考することを、承認。
7、協議会のすすめ方	<p>①、資料5の協議項目（論点）について素案が出されたが、次回集中して協議することとした。</p> <p>②、資料6の協議会の開催スケジュールと運営方法（会議の公開、資料の事前配布、資料、要旨のホームページで公開すること、開催日程はあらかじめ調整して決定する。）が説明され、承認。</p> <p>③、資料7の協議会に提出する資料一覧が示され、承認し次回提出することとした。</p>
8、第2回協議会の開催日程について	第2回の開催日程の調整の結果、8月8日（水）午後1時30分に決定した。

# 帯広市中小企業振興協議会 設立記念講演

平成19年7月20日(金) 16時～

帯広市役所10階第5A会議室

項目	内容
1、設立記念講演	<p>テーマ : 「経済成長戦略大綱と地域経済活性化戦略 ～ 十勝・帯広によせる期待 ～ 」</p> <p>講師 : 経済産業省 北海道経済産業局 浦 忠幸 産業部長</p> <p>&lt; 地域経済の現状 &gt; はじめに2ページ地域経済の動向ですが、19年6月開催された拡大経済産業局長会議資料によりますと、関東、東海、北陸は改善しているが、全国ではらつきが見られ、東北、北海道、九州、沖縄など外に行くほど有効求人倍率は厳しい状況となっている。</p> <p>次に3ページの景気回復のパターンですが全国的には、輸出の増加、生産、企業収益の増大、設備投資の増加というように好循環が始まっています。北海道が遅れている理由ですが、これまでは公共事業の増加が投資の誘発、生産販売の増加となって景気回復をひっぱて来ましたが今はこれがありません。雇用・賃金の増加改善が見られるものの非正規が増加していることから消費が、弱く増加していない。</p> <p>今の景気は、自動車、家電など輸出産業が牽引してきていまして、景気がよいところはこれらの産業、電機、機械、自動車などの立地が多いところです。公共投資は、減少が続いています、公共事業に依存したところは、景気回復から取り残された地域なわけです。それでは、どうすれば良いのでしょうか。産業構造を変える必要があります。</p> <p>自前の産業を育てていく必要があります。特に、全国、世界の市場に挑戦する輸出・移住型企業を増やしていくことが必要であります。域外所得を獲得することが大事であります。</p> <p>&lt; 経済成長戦略大綱関連3法 &gt; 4ページになります。平成18年7月に政府・与党で決定した経済成長戦略大綱では地域経済の活性化が大きな柱の一つとなっておりますが、経済産業省では、これを推進するため、三つの法律を成立させました。</p> <p>産業活力再生特別措置法は、バブル崩壊後の事業再編の為の法律ですが、これを改正して生産性の向上など技術経営力の強化など前向きな施策を展開することとしております。又地域資源を地域主導で掘り起こす取組を支援するなどを内容とする中小企業地域資源活用促進法を定めました。</p> <p>また、企業立地促進法を制定、産業集積形成に向け立地企業に対する支援策のほか、自治体に対する地方交付税措置などを盛り込んでいます。なお、大綱実現のための予算措置として、経済成長戦略推進要望、全府省庁で平成19年予算は3,092億円計上しているところです。</p> <p>&lt; 企業立地促進法 &gt; 5ページですが、「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」により、国の基本方針に基づき道及び市が地域産業活性化協議会の協議を経て、「基本計画を」定め国の同意を得ることにより、この基本計画に基づいて実施する事業について一定の支援措置が受けられます。</p>

## 帯広市中小企業振興協議会 設立記念講演

項目	内容
	<p>次に6ページですが、企業立地支援として、平成19年度44.1億円、基本計画の策定費や企業立地促進のための人材育成事業等に対する助成を設けております。</p> <p>その基本計画ですが、8～9ページに記しているように企業立地支援のための地域の取り組みを宣言する、いわば「企業立地マニフェスト」①産業集積の形成又は産業集積活性化に関する目標は、ほか②～⑬が記載すべき内容となっております。是非挑戦していただきたい。</p> <p>企業立地促進法の取組状況ですが、第1号同意を目指して10県12地域が準備中（注：7月30日付けで同意）、北海道内の取組状況は、道央圏、苫小牧地域これは自動車、リサイクル、物流などが予定されていますが、このほか北見地域、深川市、釧路市・白糠町の5地域で基本計画を策定中と聞いています。このほか函館市、旭川市も検討中と聞いています。</p> <p>&lt; 中小企業地域資源活用促進法 &gt;      続きまして11ページですが、「中小企業地域資源活用プログラム」を創設、国が基本方針を策定、道が基本構想を策定し地域資源を指定（国が認定）、道が指定した地域資源を中小企業者が活用する事業計画を国が支援措置する。地域が主導で売れる商品づくりが肝要である。資金面では「中小企業応援ファンド」として中小企業基盤整備機構に5年間で2,000億円程度の資金枠を確保している。</p> <p>12～15ページですが、専門家によるきめ細かなアドバイスを実施するための支援事務局を5人体制で中小企業基盤整備北海道支部に設置したところです。アンテナショップ等の開催や、売れる商品づくりを支援する為マーケティングやブランド育成支援事業等により販路開拓を支援していくこととなります。5年間で150～200件程度の新事業創出を目指すこととしてございまして全国の2割程度を考えているところです。</p> <p>&lt; 十勝・帯広によせる期待 &gt;      最後に17ページ十勝・帯広によせる期待ですが、農産物、畜産など、十勝は地域資源の宝庫で、産学官・金融連携の十勝モデル「十勝圏事業化評価委員会」も立ち上がろうとしています。全国・海外を視野に入れたビジネス戦略、域外から所得を獲得する産業の創出と成長支援が重要である。十勝ならではのブランド戦略も重要である。</p> <p>地域の資源に新たな価値を加えることによって競争力が高まる。デザイナーやクリエイターとのコラボレーションが大事。十勝ならではのブランドを確立すべき。地域団体商標では、川西長いも、大正マークインなど道内9件中4件が十勝となっている。十勝スイーツやばんばを活用した特産品、観光開発が高い評価を得ていることはご存知の通り。十勝地域で数多くの取り組みが出てくることを期待する。</p>